

I. 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、日本大学学生の学生生活を、勉学行動・課外活動行動・学生生活充実感・大学への要望・卒業後の進路などについて、その意識と行動実態を正しく把握し、今後の大学づくり及び学生への教育指導の向上のための参考資料とすることを目的に実施した。

2 調査の対象と方法

調査対象は、本大学（大学院を除く）の学生（昼間・夜間部，短期大学部，通信教育部を合わせた）約70,491名の中から無作為に抽出（抽出率10%と30%）した8,500名を直接の調査対象として、有効回答回収率70%を目標に調査を実施した。

なお、サンプル数については各学部の学生数を基準として別表の抽出率で調査対象数を決定し、サンプリングの方法については学生番号を用い等間隔無作為抽出法によってランダム・サンプリングを行った。

調査票の配布及び回答票の回収については、次のいずれかの方法で行った。

- ① 調査対象となった学生を直接学生課または研究室に呼び出し、内容の説明後に期限を指定して回答票を持参してもらう。（留置法）
- ② 学生生活委員，クラス担当等を通じて配布し，担当教員又は学生課窓口で回収する。（留置法）
- ③ 調査対象となった学生に郵送で調査用紙と回答票を送付し，期限を指定して学生課の窓口を持参または返送してもらう。（郵送法）
- ④ 調査対象になった学生に日時・場所を指定して参集してもらい，その場で回答してもらい回答票を回収する。（集団調査法）

3. 調査内容

調査内容については、設問の内容を「I. 所属学部・学年等」「II. 授業」「III. 学生生活充実感・満足感」「IV. 学外の勉学活動・課外活動」「V. 不安・悩み」「VI. アルバイト・奨学金」「VII. 入学から現在までの意識・行動」「VIII. 卒業後の進路」の8分野に分けた。質問項目については、学生が回答しやすいように配慮しながら29問の設問になっている。

なお、具体的な質問内容については、巻末の調査票を参照されたい。

4. 調査期間

- ・調査実施期間 平成30年5月31日(木)～6月29日(金)
- ・調査回答票本部回収期限 平成30年6月29日(金)

5. 回答票回収状況

- ・調査対象数 8,500名
- ・有効回答回収数 6,458名
- ・有効回収率 76.0%

なお、各学部の調査対象者数と回収状況は別表のとおりである。

(別表)

学部別調査対象数及び回収数

学 部 名	学生数	標本数	回収数	回収率	学 部 名	学生数	標本数	回収数	回収率
法 学 部 第 一 部	6,886	689	496	72.0%	工 学 部	4,541	454	317	69.8%
文 理 学 部	8,437	844	481	57.0%	医 学 部	754	226	225	99.6%
経 済 学 部	6,629	663	264	39.8%	歯 学 部	808	242	242	100.0%
商 学 部	5,743	574	238	41.5%	松 戸 歯 学 部	829	249	212	85.1%
芸 術 学 部	3,976	398	312	78.4%	生 物 資 源 科 学 部	6,892	689	620	90.0%
国 際 関 係 学 部	3,007	301	301	100.0%	薬 学 部	1,554	466	385	82.6%
危 機 管 理 学 部	982	295	265	89.8%	法 学 部 第 二 部	618	185	117	63.2%
ス ポ ー ツ 科 学 部	959	288	251	87.2%	短 期 大 学 部	751	225	214	95.1%
理 工 学 部	9,204	920	794	86.3%	通 信 教 育 部	1,664	166	143	86.1%
生 産 工 学 部	6,257	626	581	92.8%	合 計	70,491	8,500	6,458	76.0%

注1 学生数は平成30年5月1日現在の実数であり、これを母集団とした。

注2 危機管理学部、スポーツ科学部、医学部、歯学部、松戸歯学部、薬学部、法学部第二部及び短期大学部の標本抽出率は30%、その他の学部は10%抽出である。

注3 通信教育部は昼間スクーリングの学生を母集団とした。